

レビュー研究用フォーム		データ記入欄		
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫		
	タイプ			
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surgical treatment of metastatic melanoma.		
	論文の日本語タイトル			
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)		
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-3		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)		
	Pubmed ID			
	医中誌 ID			
	雑誌名	Am J Surg.		
	雑誌 ID	175		
	巻	5		
	号	413-7		
	ページ			
	ISSN ナンバー			
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)		
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)		
	発行年月	1998		
	著者情報		氏名	所属機関
		筆頭著者	Fletcher WS,	Department of Surgery, Oregon Health Sciences University, Portland 97201-3098, USA.
その他著者 1		Pommier RF,		
その他著者 2		Lum S,		
その他著者 3		Wilmarth TJ.		
その他著者 4				
その他著者 5				
その他著者 6				
その他著者 7				
その他著者 8				
その他著者 9				
その他著者 10				

レビュー研究の6項目	目的	遠隔転移切除後の予後に関わる因子を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	遠隔転移切除患者 77 例 5 年生存率：単発 12%；多発 0%、完全切除 15%；不完全切除 4%、単発で完全切除 18
	結論	遠隔転移を切除すべき患者は、閉塞や出血などの症状軽減の目的、単発で完全切除できること、連続した病変でも完全切除ができること、組織学的に完全切除が行えると選別された症例、である。 遠隔転移の切除は他の治療法より優れている。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 遠隔転移を切除すべき患者の条件が示された重要な論文である。